

月~木スペシャル

ヘルス

左肩痛に悩む坂口征二

『世界の驚愕』こと坂口征三氏（67）新日本プロレス相談役）といえ、柔道日本一に輝いた後、プロレス転向。選手、経営者として大活躍したフアイターだ。しかし現役を退いて約20年となる現在、深刻な肩の故障に悩んでいるという。「有名な人の健康お悩み相談」第2回は、そんな坂口氏が登場。「左肩が上がるらない」というお悩みに対して専門医が下した診断とは…。

健康 有名人の
悩み相談室

左肩が上がらない。まだ現役時代で42～43歳のとき、台湾遠征から帰国後、自宅ソファで寝転がってくつろいでいたところ突如、発症した。鈍い痛みとともに、左肩が動かない。ようやく症状は治まったが、10年後にまた同じ症状が出た。どうやら10年周期で発症するようです。

“世界の荒鷲、坂口氏は肩に深刻な悩みを抱えている

炎とされます」

過度な運動禁物

この病気の症状は急性のもので、痛風のような激烈な痛みを伴うとか。坂口氏は、はり治療、電気治療、気功などさまざまな治療を行い、ようやく症状が治まったというが、50代になって痛みが再発。以後も10年周期で痛くなるといふ。

「坂口さんの場合、石灰化腱板炎が肩関節周囲炎に移行したのではないでしょうか。石灰化腱板炎が治まった後に、肩関節周囲炎を起こすケースがあるんです」

近藤院長はこ
う診断する。

の近藤光一院長だ。
肩に現れる症状の代表
格は肩関節周囲炎、いわ
ゆる五十肩だが、近藤院
長は坂口氏の場合はスポ
ーツ選手ゆえの特殊事情
が絡んでいるとみる。
「まず42〜43歳で最初に
痛みが出たのは、選手と
して長年肩を酷使し、肩
の関節の一番深いところ
にある腱板に微細な損傷
が蓄積。そこに石灰（カル
シウム）が沈着して、
ある日、セキを切ったよ
うに爆発する石灰化腱板
は初期治療としては安静
にすることが基本。ステ
ロイド剤や局所麻酔剤を
投与しながら炎症を抑え
る。ただ、坂口氏は67歳
で、すでに慢性期にある
ため、別の治療法になる。
「アイロン体操や拳本操

「診断をもとに治療すれば、症状が改善される可能性があります」

坂口氏の相談に、こんな回答を寄せたのは、医療法人社団・東京育明会「あやせ駅前整形外科・内科」（東京・足立区）

MRI検査を！

スポーツ選手に多い「石灰化腱板炎」
医師の指導でアイロン体操や棒体操を

「あやせ駅前整形外科・内科」の近藤光一院長



肩の痛みはつ
らいものだが、
上手に付き合っ
ていくことがポ
イントのよう
だ。

「二アイロン体操や棒体操などを医師の指導のもとに行います。とはいえ、痛みをおしてまで運動する必要はありません。坂口さんはジムで、ゴムチューブを引っ張るトレーニングをされているとのことですが、極端な無理はなさそうですね」と近藤院長はアドバイスする。

廣ヒジョーシキ



藤田 紘一郎

カイチニウ博士の

<2612>

に^ニ出^デて、そ^ソこで^コふ化^{フカ}し、海中^カを泳^ユいでオキアミ^キの中^{ナカ}に入^イり幼虫^{ユウチュウ}に発育^{ハツイク}しま^{シマ}す。このオキアミ^キをサバ^{サバ}やイカ^{イカ}な^ナでいるサバ^{サバ}やイカ^{イカ}などをヒト^{ヒト}が生^ナで食^シべると、幼虫^{ユウチュウ}はヒト^{ヒト}の体内^{テイネ}で親虫^{シンチュウ}にな^ナることができず、胃壁^{イペキ}や腸壁^{チュウヘキ}に頭^{カブタ}をつつ込^コんで、ひどい腹痛^{フツブツ}を起こ^{オコ}すのです。

サバ、アジ、サンマ、オヒョウ、それにスルメイカ^{スルメイカ}などに、この幼虫^{ユウチュウ}まよ

やく内臓を取り除いてしまふので、そんなに心配はいりません。多くの場合、自分で釣ってきた魚の刺し身や自家製のマリネから感染しています。北海道や東北地方ではマダラの白子や肝臓、アンコウの肝臓などを生で食

兒報局

気の方が人は健
るようだ。米
記者が世界大恐
亡データを分
ころ、景気が
死亡率が低下
きできていた
かった。成果
日付の「米国
カデミー紀